

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大牟田市立大正小学校] 担当教諭名 [坂本 真奈美] (6年1・2組 61名)
 相手国・地域 [マーシャル諸島]
 海外学校名 [Delap Elementary School] 担当教諭名 [長尾 春奈(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	国語科	資料を生かして呼びかけよう	8
	図画工作科	アートマイル共同制作	8
	総合的な学習	「STOP! 地球温暖化 わたしたちにできることは」	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	STOP! 地球温暖化 Deterring global warming
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	「地球の大自然のもつ力と国を越えたパートナーシップでこの問題を解決する」 CO ₂ を吸収する森と緑、CO ₂ を排出する人間の活動、高潮を悲しむデラップの人、 つながる日本の川とマーシャルの海、手を取る日本とマーシャルの子どもの姿で、こ このメッセージを表現しています。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
子どもたちが、地球温暖化の問題を相手の国だけでなく、世界の問題、自分たちの問題と捉え、解決方法を考え実際に行動するまでに至った。	カリキュラムとして、次の6年生に残すには、相手校と連絡を取り、何らかの形で子ども同士の交流や、協働学習ができるようにしなければならない。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
マーシャル諸島の子どもたちの顔や声に触れ、世界の国を身近に感じながら、共に問題に取り組もうとするグローバルな感覚や視野を持つことができるようになった。	SDGsの共有した子どもたちの協働学習を指導してみながら世界や未来についての現実的な見方が深まり、ESDを推進する重要性をより強く感じるようになった。特に、SDGs13番。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	自己紹介をし、相手の国の位置、国土の様子、学校規模などを知る。	初めての国際交流に興味を持ち、マーシャル諸島のことをインターネットなどで調べる子どももいた。	総合1
共有 テーマ学習	8月 ～ 10月	マーシャル諸島のことを知り、SDGs 13番を中心に学習を進めるようにする。	地球温暖化の現状、原因、防止策について調べ、まとめ、表現した。マーシャル諸島の置かれている状況が学びの目的を生んだ。	国語4 総合4
融合 メッセージ作成	11月 12月	地球温暖化について両校で学習を進める。子どもたちは現状と未来の見通しを認識し、SDGs13番の取組の必要性を強く意識する。	子どもたちが意見を交流し、CO ₂ を吸収する山と植物、川と海でつながる日本とマーシャル諸島、高波が押し寄せるマーシャル諸島の悲しむ子どもの顔、両国のパートナーシップなどを表現しようとする構想を立てた。	国語4 総合2
創造 壁画制作	12月 1月	壁画の制作に取り組む。	日本の山と川、花、CO ₂ を排出する工場や車などをそれぞれの色調の関係を考えながら描いた。	図工8
評価 振り返り 自己評価	2月	地球温暖化の学習をまとめ、学習発表会で発表する。	保護者や、地域の人々の前で学習の経過と成果を発表し壁画を披露した。	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてついていた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	3	壁画を描く際に日本の伝統文化を調べる様子が見られた。
異文化を理解する力	5	マーシャル諸島の自然や教室での子どもたちの様子、服装などが分かる写真を興味深く見ていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	地球温暖化の現状、原因、防止策について複数の本や文章から調べ、図グラフなどの資料を活用して「STOP!地球温暖化」を訴えることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	相手のビデオレターで日本語をつかってあるのを見て、こちらからのビデオレターでもマーシャル諸島の挨拶と英語のスピーチを入れたこと。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	CO ₂ の排出を抑える、吸収を促進する、二つの視点から温暖化対策を考えることができた。
主体的に考え行動する力	5	地球温暖化抑止のため身近でできることを話し合い、保護者も巻き込んで「STOP! 地球温暖化 親子宣言」をつくったこと。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	デラップ小学校の子どもたちの未来を心配し、何とかしたいという思いが、学びや行動につながった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	花や緑など自分たちの求める自然の姿を協力して表現していた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	相手校から送られてきた絵を開いたときの子どもたちの声、表情。